

【使徒の働き 11章】

「主の御手が彼らとともにあった。」 (使徒11:21)

「弟子達はアンテオケで初めて、キリスト者と呼ばれるようになった。」 (使徒11:26b)

アンテオケ教会の誕生とバルナバ

ステパノの殉教でエルサレムから散らされていった人が、その地その地で伝道してアンテオケまでも進んでいきました。ユダヤ人以外の者には誰もみ言葉を語らなかったのですが、キプロス人とクレネ人がいて、アンテオケのギリシヤ人に主イエスの事を語り始めました。その頃ギリシヤ人は知識を追求する合理的な考え方を持っている人々で、彼らは十字架の福音を愚かなもの（「十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私達には、神の力です。」I コリント1:18）と思っていたのですが、「主の御手が彼らとともにあったので」大ぜいの人が信じて主に立ち返りました！主の御手があったので、主のわざがあらわれます。これが祝福の鍵です。主の御手がおかれるように祈りましょう。

当時アンテオケはオロントス川の河口にあり、美しい都市であると共にローマ帝国の国際都市で商業で栄えていました。近くにアルテミスやアポロを祭る神殿があり、神殿では売春行為が公然と行なわれていたというような荒廃した街に、愛と赦しを与える福音が伝えられ、本格的な異邦人伝道が始められました。アンテオケの町で起ったことは、速やかにエルサレム教会に報告され、早速、人望厚いバルナバをアンテオケに派遣することにしました。

バルナバは「慰めの子」と言うにふさわしい穏健な人物で、彼がアンテオケに来た時には、神の恵みはすでに教会に漲っていました。彼は聖霊と信仰に満ちた立派な人で、「**みなが心を堅く保って、常に主にとどまっているように**」と励まして大勢の人が主に導かれました。バルナバはパウロの故郷のタルソに行ってパウロを探し出し、アンテオケに連れてきます。パウロを福音宣教の表舞台に連れ戻したのはバルナバです。この二人が教え、アンテオケ教会の基礎づくりに貢献し、第1回伝道旅行に派遣されています。アンテオケのキリスト信者は、何事につけてもキリスト・キリストと生活していた事をからかわれ、クリスティアノス（**クリスチャン**）と呼ばれました。私達の生活もキリストを中心とし、主の御心を求めるようにしていきましょう。たとえからかわれても！

28節～エルサレムから来た預言者、その中の一人アガボが「世界中に大飢饉が起こる」と預言しましたが、その通りローマ帝国第4代目の皇帝クラウディオの治世に大飢饉が起こりました。そして救援物資をバルナバとパウロの手で長老達に送ったのです。このように、アンテオケ教会は、**神の声を聞き、預言の言葉をないがしろにせず、愛を実行した教会でした**。東京アンテオケ教会も今回も大震災のために義援金が捧げられ、早速被害の大きいところで聖会が持たれ、ゴスペルチームが派遣され、また 先日行われた「はるゴスペル」コンサートも、チャリティーコンサートとするなど、その名の実質を表しています。

SILOAM

(遣わされた者)

2011. 4. 10 No. 626

主の十字架クリスチャンセンター
The Lord's Cross Christian Center
(TLCCC)

Church of the Firstborn who are
Registered in Heaven
(FRH教会)
(ヘブル12:23)

この戦いはあなたがたの戦いではなく、

神の戦いであるから。

(第2歴代20章15節)



東日本大地震・大津波・原発放射能災害の為のチャリティーコンサート

<http://astone-blog.jp/tlccfrh/> <http://tlccfrh.astone-blog.jp>
Tel & Fax: 048-689-0048

Information

- ① “はるゴスペル” は素晴らしい祝福でした。涙を流して感動された方々・・・ご協力をありがとうございました。私達も出て行ってゴスペルを！！4月の野外ライブの為に祈りください
- ②2011年度の神学校は4月第2週からです。神学生、聴講生、通信制をご希望の方はお知らせください。
- ③逆勝116号を皆様の証しで作成しましょう。(担当:ヨシュア伝)
- ④4月のアメリカチームは、4月18日(月)～23日(土)派遣先: サンディエゴ、サクラメント、シカゴ、ヴァージニア、ニューヨークとなっています。お祈りください。
- ⑤5月のカリスマ聖会は5月8日18:00～ハイアットリージェンシー東京 地下1F宴会場となっています。お誘いあわせの上ご来場ください。

Servant

司会さんび	午後司会	特別賛美
4/10 あけみ姉	ヨシュア伝	Bless
4/17ヨシュア伝	真由美伝	スペシャルギフト
4/24真由美伝	アンデレ伝	キリストの花嫁
5/1アンデレ伝	さんび伝	ミラクルスマイル

Church Place

今を生きる為の力を受け、
神の人類救済計画を知る為に、
聖書を熱心に読みましょう！



<聖書日課>

日付	聖書箇所
4/10(日)	使徒の働き 22章
4/11(月)	23章
4/12(火)	24章
4/13(水)	25章
4/14(木)	26章
4/15(金)	27章
4/16(土)	28章

Weekly Prayer

- ①賛美の働き(会衆賛美・各グループの成長路上ライブ・器材の為にギター奏者等)
- ②インターネットの働き、ホームページの回復、ブログ、mixi,映像、動画等の為
- ③孤児院のため(日本の孤児院の為に、カンボジア孤児院建設土地購入のために。)
- ④世界宣教・映画伝道(映像部)のため
- ⑤殉教の備え、祈りの宮、地震の備えの為に
- ⑥5つの教会礼拝のため・牧師スタッフのため 御心を行えますように。噂話、作り話、批判、中傷、ねたみ、高慢の霊の縛り 神の用いるネットワークの強化と、サタンの用いるネットワークの断ち切りの為に・祈りのミッションの働き
- ⑦家族親族、友人知人の救い、癒しの為に
- ⑧帯広教会・宮崎教会・松山教会他TLCCC の各教会の為に。超教派の働き

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人の内よりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【十戒】

- 1、あなたには私のほかに、ほかの神々があつてはならない。
- 2、あなたは自分のために、偶像を造ってはならない。
- 3、あなたの神、主のみ名をみだりに唱えてはならない。
- 4、安息日を覚えてこれを聖なる日とせよ。
- 5、あなたの父と母を敬え。
- 6、殺してはならない。
- 7、姦淫してはならない。
- 8、盗んではならない。
- 9、となり人に対し、偽りの証言をしてはならない。
- 10、となり人の家を欲しがってはならない。

HAPPY SONG

ハレルヤ私はクリスチャン

- 1、ハレルヤ 私はクリスチャン 日々喜び歌いつつ 主を愛し 主に愛される 主は私のすべて
- 2、ハレルヤ 御霊の実は 愛 喜び 平安 寛容 親切 善意 誠実 柔和 自制です
- 3、ハレルヤ 信じます アーメン 神は神を愛する者 召された者と共に働いて 万事を益となしたもう

Revival has come X-4

風が変わり始めている 激しいあま音 響き始めてる 信じる心に 注がれた 愛を握りしめて 嵐の闇の空の上に 七色の光 もう輝いているから 大地を潤す 雨が降り注ぐ いのちの息吹 全地に満ち溢れ 歌声響かせて 闇を光に変える
Praise the Lord Praise the Lord Revival has come

桜 X-7

この賛美が届きますように あなたのもとへ あなたがつくられた この木々も野の草も 尊い全ての命 あなたが下さった 桜咲く 舞い上がる あなたの事を想う あなたがつくられた この花も全てを 大きな空の向こう 天へとこの眼上げる この賛美が届きますように あなたのもとへ 桜咲く 舞い上がる あなたの事を想う あなたがつくられた この花も全てを 大きな空の向こう 天へとこの眼上げる この賛美が届きますように あなたのもとへ この賛美が届きますように あなたのもとへ あなたのもとへ

イスラエル 主と共に X-60

1、約束の場所が 目の前に広がる 感謝と賛美の歌声を手に 主と共に今進み行こう ※<聞けイスラエルよ あなたの神心を尽くして 主を愛し従い行こう とこしえの幸いの道を さあ主の民よ 心すえて誓いを果たされる 主の真実をほめよ 我らは主と共に> 2、あなたは知ってる 主の誠実と恵みを 大海でさえも かれ果てたのは あなたが進み続ける為>※

すべてに感謝 X-38

愛する天のお父さま 主イエス・キリストを 今日信じ 神の言葉に聞き従い すべてを悔い改め 御心を求めん すべてに感謝 すべてに感謝 すべてに感謝 み名を崇めます

後の雨 X-19

この命捧げあなたに仕える この身も魂もあなたのもの この地に全地に リバイバルを 後の雨を もたらせたまえ

礼拝さんび

- 1.ハレルヤ
- 2.X-4
- 3.X-7
- 4.X-60
- 5.X-38
- 預言
- 6.X-19